学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	世界史探究「高校世界史」　山川出版社 詳説世界史図録（第５版）　山川出版社						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目では社会的事象の歴史的な見方・考え方について知識を深めます。特に近現代の世界史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切に読みとる力の向上を目指します。
・授業での活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会のなかで歴史に見られる課題を把握し、現代社会につながる課題解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明、議論することができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・帝国主義以降の特質や欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。
・国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
・１９世紀後半からの，各国の動きを関連付けて考察し，文章にまとめることができる。
・親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し，文章にまとめる。
・アジア諸地域で推進された民族運動と干渉国の関係を多角的に考察し，追究している。
【学びに向かう力、人間性等】
・帝国主義以降の欧米列国の状況について、関心を持って学習しようとしている。
・欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。
・米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。
・アジア諸地域の独立と建国時の困難さ関して，関心を持って学習しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	第Ⅲ部諸地域の結合・変容⑮帝国主義とアジアの民族運動	1.第２次産業革命と帝国主義 2.世界再分割と列強の対立 3.アジア諸国の変革と民族運動	a:第２次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主義運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解している。 b: 第 2 次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 c:欧米列強の帝国主義政策と、それに対するアジア諸地域の抵抗運動は、人々の生活にどのような影響をおよぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
	⑯第一次世界大戦と世界の変容	1.第一次世界大戦とロシア革命 2.ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3.アジア・アフリカ地域の民族運動	a: 第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響、植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 b: 戦後の国際秩序の形成、西欧・東欧諸国、ソ連、アメリカが向かい合った課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会 を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など

2学期	⑰第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	1．世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2．第二次世界大戦 3．新しい国際秩序の形成	a: 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b: 世界恐慌のアメリカ、フランス、イギリスやドイツ、日本、イタリアなどの諸国家の対応策や世界各国と社会主義国ソ連との共通点と相違点、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の変容、連合国結成と終戦への政治過程、戦後の国際政治に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
	⑱冷戦と第三世界の台頭	1．冷戦の展開 2．第三世界の台頭とキューバ危機 3．冷戦体制の動揺	a: 冷戦による東西の軍事同盟の広がりと核兵器の開発、拡散する一方で核兵器廃絶と平和を訴える運動について理解している。 b: 第三世界の台頭とキューバ危機を多面的・多角的に理解し、改めて第三世界の台頭とキューバ危機を定義している。 c: 冷戦と第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など

3学期	⑲冷戦の終結と今日の世界	1．産業構造の変容 2．冷戦の終結 3．今日の世界	a: ドル=ショック、オイル=ショック、第3次中東戦争、第4次中東戦争、イラン=イスラーム革命が、世界の経済や政治情勢に及ぼした影響を理解している。 b: 新冷戦」、東欧社会主義国の改革、東アジアの民主化運動と南アの人種差別撤廃、冷戦終結が世界におよぼした影響を多角的・多面的に考察し、1970～90年代の世界について表現している。 c: :1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など
		4．現代文明の諸相	a: 現代社会における世界観や生活のありかたの変化と、私たちが継承していくべき理性や進歩、自由や人権の概念を理解している。 b: 近代合理主義が影響を与えた諸思想を比較し、「多文化共生」を目指す考え方や環境破壊などの諸問題と関連付け、多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 近現代の世界史を学習してきたなかで、世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化を関連づけて追求し、何を明らかにできたか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。	小テスト、定期考査など	小テスト、定期考査、プリントなど	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度